

## 広報ただみ診療所

朝日診療所  
医師 渡邊 孝一郎



### 「着任のご挨拶と会津若松市の救急体制について」

皆さんこんにちは。4月より朝日診療所に着任した渡邊孝一郎です。出身は福島県田村市常葉町、安積高校、福島県立医科大学出身です。昨年度1年間は会津若松市の会津医療センターに勤務しておりました。循環器内科の勉強を主に行っており、かつて朝日診療所におられた星野弘尊先生と働いていました。朝日診療所では、若山先生、森先生、山内先生にご指導いただきながら内科以外の診療も行わせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

さて、夜間や休日に急な病気になってしまった時、我々はどうしたら良いのでしょうか。日本では1次救急、2次救急、3次救急という言葉が使われています。

**1次救急: 帰宅可能な軽症の方に対する救急医療**

**2次救急: 一般病棟に入院が必要な中等症の方に対する救急医療**

**3次救急: 集中治療室に入院が必要な重症の方に対する救急医療**

として使われています。

([http://www.jaam.jp/er/er/er\\_faq.html](http://www.jaam.jp/er/er/er_faq.html))

只見町で急病になった場合、当診療所は1次救急と、軽症で入院が必要な方の対応が可能です。

中等症以上の方については会津若松市の2次救急病院にご紹介しています。会津中央病院、竹田総合病院、会津医療センターが救急医療病院群輪番制をとっており、休日・夜間は3つの病院が日替わりで2次救急の体制をとっています。また当診療所にお手伝いいただいている看護師さんたちが所属する、会津中央病院救命救急センターは会津地方の3次救急を担っていて、ドクターヘリ、ドクターカーなどを整えています。交通外傷や重症な救急疾患は3次病院である会津中央病院にご紹介しています。

小児科、産婦人科、脳神経外科内科は会津医療センターにはありませんので、適宜ご紹介しております。精神救急疾患も別体制で対応しています。

各病院ともかかりつけの患者さんは輪番日以外でも受けていただけますので、かかりつけやご希望があれば教えてくださいね。

只見町から若松市内まで2時間程度の長時間がかかるため、各病院と連携しながら住民の皆さんのお役にたれてばと思います。

## 地域おこし協力隊として vol.18 只見町教育振興協力隊 末谷 広大

### 『ようこそ、只見町へ!!』

昨年度3月。只見町で3年間の共同生活を送ってきた只見町山村教育留学生第12期生の14名が立派に卒業していきました。その表情からは、これまでの3年間に対する寂しさと、これからの新生活に向けての期待が見え隠れするようになりました。

そして今年度もたくさんの応募者の中から、第15期生となる14名の只見町山村教育留学生が只見高校へと進学しました。奥会津学習センターは相変わらず満室。様々な地域から只見高校へ進学した生徒たちは、まだまだ修学旅行気分で、先輩たち

や管理人さんに厳しくも優しく寮内でのルール、部活動でのルール、日々生活でのルールについて指導されているようです。

これから3年間、親元から離れ寮で共同生活を送ることとなりますが、積極的に只見町と関わり合いを持ってかけがえのない3年間にしてほしいと思います。

